九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[009]言語文化論究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/5456

出版情報：言語文化論究. 9, 1998-03-01. 九州大学言語文化部
バージョン：
権利関係：

個人研究業績一覧
（1997年１月～10月）

＜言語科学系＞

言語科学部門

鈴木　右文

－“Binding and the θ- theory”『言語科学』第32号，pp.145-151，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月．（論文・単著）

－“Movement, Control and the θ-theory”『英語英文学論叢』第47集，pp.117-142，九州大学英語英文学研究会，1997年２月．（論文・単著）

恒川　元行

－「数量名詞と定動詞の数の一致について」『福岡教育大学紀要』第46巻第１号，pp.47-59，1997年２月．（論文・単著）

－「anrufen における４格と副詞規定の交代について」『大分大学工学部研究報告』第35号，pp.69-75，1997年２月．（論文・共著）

田畑　義之

－「初習外国語教育の新しい視点－改善のために何ができるか－」『言語文化論究』No.8，pp.23-34，九州大学言語文化部，1997年３月．（論文・単著）

山村ひろみ

－「対照のimperfecto」『言語科学』第32号，pp.153-180，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月．（論文・単著）

－「ser コピュラ文の pretérito による表出について」『独仏文学研究』第47号，pp.81-102，九州大学独仏文学研究会，1997年7月．（論文・単著）

－「pretérito による表出のための諸条件－無生主語文を中心として－」第17回日本スペイン語学セミナー（SELE97）於：京都府立ゼミナールハウス，1997年８月29日．（口頭発表・単独）

－「imperfecto de cortesía y modestia について」第43回日本イスパニヤ学会 於：関西外国語大学，1997年10月19日．（口頭発表・単独）

歴史言語学部門

田島　松二

－「小野茂著“On Early English Syntax and Vocabulary”」*The Kyushu Review* 第２号，pp.89-91 九州大学「九州レヴュー」の会，1997年10月．（書評・単著）

新保　弼彬

－“Pietismus und Neuzeit, Bd.22”, *Gerhard Schwinge: Jung-Stilling als Erbauungsschriftsteller der Erweckung*, p.6, Vandeennhoeck & Ruprecht，1997年６月．（書評・単著）

田中　俊也

－“Remarks on Kurzova's Model of IE Structural Change: from D-F to P-F, Part 1”『英語英文学論叢』第47集，pp.93-116，九州大学英語英文学研究会，1997年２月．（論文・単著）

－“Remarks on Kurzova's Model of IE Structural Change: from D-F to P-F, Part 2”『言語科学』第32号，pp.39-95，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月．（論文・単著）

－“A Non-Brugmannian Approach to the Historical Development of the Germanic Copula: How is the suppletion to be explained?”, 第13回国際歴史言語学会 於：ハインリッヒ ハイネ大学，デュッセルドルフ，1997年８月12日.（口頭発表・単独）

西山　猛

－「上古漢語“其”字的特殊用法」『言語科学』第32号，pp.97-104，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月.（論文・単著）

－「竹簡帛書的語言文学資料価値」第10回ソウル大・九大中国学国際学術交流会議 於：国立大学九重共同研究所，1997年７月18日.（口頭発表・単独）

応用言語学部門

田中　俊明

－「集中授業と毎週授業」『独仏文学研究』第47号，pp.19-32，九州大学独仏文学研究会，1997年７月.（論文・単著）

－「ATRと日本ドイツ語情報処理研究会」『ドイツ語情報処理研究』，pp.1-5，日本ドイツ語情報処理研究会，1997年６月.（解説・単著）

松村　瑞子

－「日本語の歴史的現在と主語の人称」『言語科学』第32号，pp.123-132，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月.（論文・単著）

大津　隆広

－「Q/I-implicature と関連性」『言語科学』第32号，pp.133-143，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月.（論文・単著）

井上奈良彦

－“Proving, Attacking and Defending: An Analysis of Debating in English Speaking Societies(ESS)”『言語科学』第32号，pp.1-17，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月.（論文・単著）

Kasjan, Andreas

－「ドイツ語の入門期におけるバイリンガル教授法」『言語文化論究』No.8，pp.1-22，九州大学言語文化部，1997年３月.（論文・単著）

－“Deutschunterricht unter erschwerten Bedingungen: Grammatik als Chance und Risiko”第11回国際ドイツ語教育者会議 於：アムステルダム大学 オランダ，1997年８月５日.（口頭発表・単独）

高橋　里美

－“Connectionism as a Model for Second Language Acquisition Reserch”『言語科学』第32号，pp.19-38，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月.（論文・単著）

－“Input Conditions and Development of Second Language Pragmatic Competence” 1997年度韓国英語英文学会釜山支部大会 於：釜山大学 大韓民国，1997年10月11日.（口頭発表・単独）

Matthews, Seán

－“Rotten and Rotting Others: D.H.Lawrence and English Studies”『英語英文学論叢』第47集，pp.49-76，九州大学英語英文学研究会，1997年２月.（論文・単著）

－“A Grammar of Uncertainty: Two Working-class Voices of the 1950s”『言語文化論究』No.8，pp.39-63，九州大学言語文化部，1997年３月.（論文・単著）

＜言語文化系＞

アジア・アフリカ言語文化部門

岩佐　昌暲

－「抗戦期の旧詩雑誌『民族詩壇』について」『九州中国学会報』第35巻，pp.96-112，九州中国学会，1997年５月.（論文・単著）

－「赤い海原」ほか90項目『中国文化大革命事典』，pp.347-432，中国書店，1997年１月．（翻訳・単著）
－「謝冕文学に見る中国「改革・開放の深層－現代詩の人間像－」『APCアジア太平洋研究』創刊号，pp.62-66，アジア太平洋センター，1997年３月．（翻訳・単著）
－「中国文学の中の人力車」『文明のクロスロード』第57号，pp.18-25，博物館等建設推進九州会議，1997年７月．（解説・単著）

松原　孝俊
－「雨森芳洲と対馬藩「韓語司」の設立経緯をめぐって」『日本論集』第９号，pp.31-55，韓国・中央大学校日本学研究所，1997年２月．（論文・共著）
－「雨森芳洲と対馬藩「韓語司」における学校運営をめぐって」『比較社会文化』第３巻，pp.149-159，九州大学大学院比較社会文化研究科，1997年３月（論文・共著）
－「雨森芳洲と対馬藩『韓語司』での教育評価について」『言語科学』第32号，pp.105-122，九州大学言語文化部言語研究会，1997年２月．（論文・共著）
－「厳原語学所と釜山梁語学所の設立と廃止をめぐって」『言語文化論究』No.8，pp.47-59，九州大学言語文化部，1997年３月．（論文・共著）
－「琉球の朝鮮語通詞と朝鮮の琉球語通詞」『歴代宝案研究』第８号，pp.33-55，沖縄県立図書館資料編纂室，1997年３月．（論文・単著）
－「李　薫著「朝鮮時代後期の漂民の送還を通してみた朝鮮・琉球関係」」『歴代宝案研究』第８号，pp.1-32，沖縄県立図書館資料編纂室，1997年３月．（翻訳・共著）
－「朝鮮神話研究の最前線－壇君神話を中心として」『ユリイカ』，pp.97-101，1997年２月号．（総説・単著）
－「朝鮮から琉球へ、琉球から朝鮮への漂流年表」『漂流・漂着からみた環東シナ海の国際交流』平成８年度科学研究費報告書，pp.67-94，1997年３月．（資料・共著）
－「『憲章姓家譜』解読及び解題」『漂流・漂着からみた環東シナ海の国際交流』平成８年度科学研究費報告書，pp25-53，1997年３月．（解説・共著）
－「松原新右衛門『朝鮮物語』解説及び解題」『漂流・漂着からみた環東シナ海の国際交流』平成８年度科学研究費報告書，pp.55-101，1997年３月．（解説・共著）
－「琉球の朝鮮語通詞に関する一考察」朝鮮学会研究大会 於：天理大学，1997年10月．（口頭発表・単独）

欧米言語文化部門

鬼塚　敬一
－『続・ジョージ・ハーバート詩集』南雲堂，1997年３月．（著書・訳・単著）

小野　和人
－『ソローとライシーアム』開文社，1997年４月．（著書・単著）
－「生きている道－ソローの詩「旧マルボロー街道」について」*The Kyushu Review* 第２号，pp.51-58，1997年10月．（論文・単著）

山内　正一
－「Keats と「地獄」体験：In drear nighted December をめぐって」『言語文化論究』No.8，pp.101-113，九州大学言語文化部，1997年３月．（論文・単著）
－「Keats の “the warm Love” をめぐって－Ode to Psyche 論」『英文学研究』第73巻第２号，pp.221-232，日本英文学会，1997年１月．（論文・単著）

藤崎　睦男
－「ハックとレイシズム」『英語英文学論叢』第47集，pp.65-76，九州大学英語英文学研究会，1997年２月．（論文・単著）

太田　一昭

－「『ヘンリー四世』とオールドカスル／フォールスタフ論争」『言語文化論究』No.8, pp.61-76, 九州大学言語文化部, 1997年３月.（論文・単著）

－「イングランドの名高き反逆者ジャック・ストロの生と死」『英語英文学論叢』第47集, pp.143-178, 九州大学英語英文学研究会, 1997年２月.（翻訳・共著）

恒吉　法海

－ジャン・パウル著『ヘスペルスあるいは四十五の犬の郵便日』, 九州大学出版会, 1997年４月.（翻訳・解題・単著）

小谷　耕二

－「南部史を書き直す－アーネスト・Ｊ・ゲインズ『ミス・ジェイン・ピットマンの自伝』－」『英語英文学論叢』第47集, pp.77-91, 九州大学英語英文学研究会, 1997年２月.（論文・単著）

－「Ｗ・Ｊ・キャッシュと南部の神話」『言語文化論究』No.8, pp.77-88, 九州大学言語文化部, 1997年３月.（論文・単著）

－“Studies of Southern Literature of America in Japan, 1996”『北九州大学文学部紀要』第54号, pp.1-22, 1997年７月.（書誌・共著）

比較言語文化部門

廣田　　稔

－「ワーズワース『序曲』第三巻 ‘long-back’d から ‘long-roof’d’ をめぐって－」『英語英文学論叢』第47集, pp.1-15, 九州大学英語英文学研究会, 1997年２月.（論文・単著）

－「ブロンテ研究ノート『嵐が丘』再考」『言語文化論究』No.8, pp.89-100, 九州大学言語文化部, 1997年３月.（論文・単著）

有村　隆広

－「安部文学の転機－カフカとの対比」『言語文化論究』No.8, pp.189-200, 九州大学言語文化部, 1997年３月.（論文・単著）

－「カフカの長編小説『城』における官僚組織」『独仏文学研究』第47号, pp.1-18, 九州大学独仏文学研究会, 1997年７月.（論文・単著）

青山　太郎

－「ロシアの性愛論Ⅲ. ソロヴィヨフとベルジャーエフ」『言語文化論究』No.8, pp.215-229, 九州大学言語文化部, 1997年３月.（論文・単著）

Michel, Wolfgang

－「大英図書館蔵のケンペル資料に見る日本の病名および病気」『洋学史研究』第13号, pp.1-9, 洋学史研究会, 1997年４月.（論文・単著）

－「C.P.ツュンベルー著 高橋文訳『江戸参府随行記』」『日本医史学雑誌』第43巻第１号, pp.129-130, 日本医史学会, 1997年３月.（書評・単著）

－「インターネットにおける医史学」『日本医史学雑誌』第43巻第２号, pp.241-248, 日本医史学会, 1997年６月.（書評・単著）

－“Auf den Spuren deutscher Japanreisender” Volkshochschule Bielefeld 於：ビーレフェルト ドイツ, 1997年３月13日.（口頭発表・単独）

－“Caspar Schambergers Japanreise (1649-1651)” Kulturzentrum PFL 於：オルデブルグ ドイツ, 1997年３月14日.（口頭発表・単独）

－「エンゲルベルト・ケンペルから見た日本語」洋学史研究会 於：青山学院大学, 東京, 1997年４月８日.（口頭発表・単独）

高橋　　勤

－「屋久杉とウオールデン －高田宏におけるヘンリー・ソロー」文学・環境学会 於：慶応大学, 1997年10月.（口頭発表・単独）

Rawlings, Peter

－“Philip Larkin and the Provincial Imperative”『英語英文学論叢』第47集, pp.17-38, 九州大学英語英文学研究会, 1997年２月.（論文・単著）

－ "Henry James and *What Maisie Knew:* The Vital Importance of Being Ignorant" 『言語文化論究』No.8, pp.139-179, 九州大学言語文化部, 1997年3月.（論文・単著）

－"Henry James and 'Brooksmith': Circumscribing the Task of Reading" 『九州アメリカ文学』No.38, pp.51-64, 九州アメリカ文学会, 1997年11月.（論文・単著）

－ "Henry James and Photography" The British Association for American Studies Annual Conference 於：バーミンガム 連合王国, 1997年4月.（口頭発表・単独）

－ "Henry Jame's 'The Real Thing' and the Kodak Factor" 日本英文学会第69回大会 於：宮城学院女子大学, 1997年5月.（口頭発表・単独）

福元　圭太

－ "Die Spur des Eros(3) －Zur Theorie der Homosexualität bei Hans Blüher, Magnus Hirschfeld und Sigmund Freud－" 『言語文化論究』No.8, pp.173-187, 九州大学言語文化部, 1997年3月.（論文・単著）

－ "Die Spur des Eros(4) －Die Geburt des Staates aus dem Geiste des Männerbundes－" 『独仏文学研究』第47号, pp.33-47, 九州大学独仏文学研究会, 1997年7月.（論文・単著）

言語芸術部門

吉野　昌昭

－「*Prometheus Unbound* における "reflexion" の効用」『比較社会文化』第3巻, pp.141-147, 九州大学大学院比較社会文化研究科, 1997年3月.（論文・単著）

津村　正樹

－「ハンス・アイスラー作『ヨハン・ファウストラス』」『東ドイツ文学』, pp.5-121, イルムの会－東ドイツ文学会編, 1997年7月.（翻訳・単著）